



## 教育・保育施設等における園児の 見落とし事案の発生防止対策



Copyright (C) 2025 保育安全のかたち 遠藤

## 活動紹介

- ▼ 幼稚園教諭 / 保育士
  - ・ 施設長勤務（-2011）
  - ・ 救命講習インストラクター
- ▼ 防災士
  - ・ 避難確保計画の監修
- ▼ 保育園看護師キャリア支援



『保育安全のかたち』

<https://child-care.ne.jp/>

月2回、オンライン勉強会の参加者も募集中！

## 今回お伝えする内容

- ① どの時点が見失いや置き去り事故か
- ② 3つの見失い・置き去りの重大事故
- ③ 見失いや置き去り事故の問題点
- ④ 保育施設における動静把握責任

- ① 見るだけでなく、見えてない空間を自覚
- ② 一般的なヒューマンエラーの種類
- ③ 置き去りの人数点呼の問題点
- ④ 人数確認の盲点：事前行動の確認

## どの時点が見失いや置き去り事故か

「見失い」・「置き去り」とは？

例：保育所職員が担当している園児の居場所がわからず、他の職員が見つけたケース

- ① 子どもが居ないことに気づいて探す、戻る
- ② 結果、見つかる、見つからない、怪我していた
  - 怪我をしたときに見ていなかった場合との違い
  - 子どもを取り囲む状況が把握できていない問題

## 上尾保育所事故調査委員会報告書

平成17年8月10日、上尾市立上尾保育所において、4歳児が所在不明となり、木製スタンド型絵本棚の下の引き戸の中にいた児童を発見するも、既に意識がなかったため救急搬送された事案（死亡を確認）

## 市内認可保育所での重大事故の検証等に関する報告書

平成28年11月14日、福岡市内の認可保育所において、室内で人数確認したところ1歳児一名が所在不明。園庭の雨水桮に頭を入れた状態で溺水し、意識がない状態で発見されて救急搬送された事案（後に回復）

## 広島市立保育園における園児死亡事案の検証等に係る報告書

令和4年4月16日、広島市西区の市立保育園において、5歳児が園庭での保育中に行方がわからなくなり、保育園からほど近い河川の砂地で意識がない状態で発見されて救急搬送された事案（死亡を確認）

## 見失いや置き去り事故の問題点

- 人数確認したら…、または子どもに意識を向けた時点で、居ないことを認識した
- 福岡市：個別行動から集団行動の移行を失敗
- 見てない（見れていない）時間帯があった
- ※ 問題点：見てなかったことが問題ではない
- ① 姿が見えていないことへの危機感の欠如
- ② 見てない間の所在確認ができてない
- ※ 見てない間の行動を予見して、事故を回避する安全保障の必要性を考慮していない

## 保育施設における動静把握責任

- ▼ 安全配慮義務
  - 予見可能性
  - 結果回避可能性

※もともと事故の発生が予想できるものか  
※実害の発生を防止する策を講じていたか

→ 動静把握責任  
子どもの所在を把握し、行動を監視する義務

令和7年度 教育・保育施設等における  
安全管理研修会

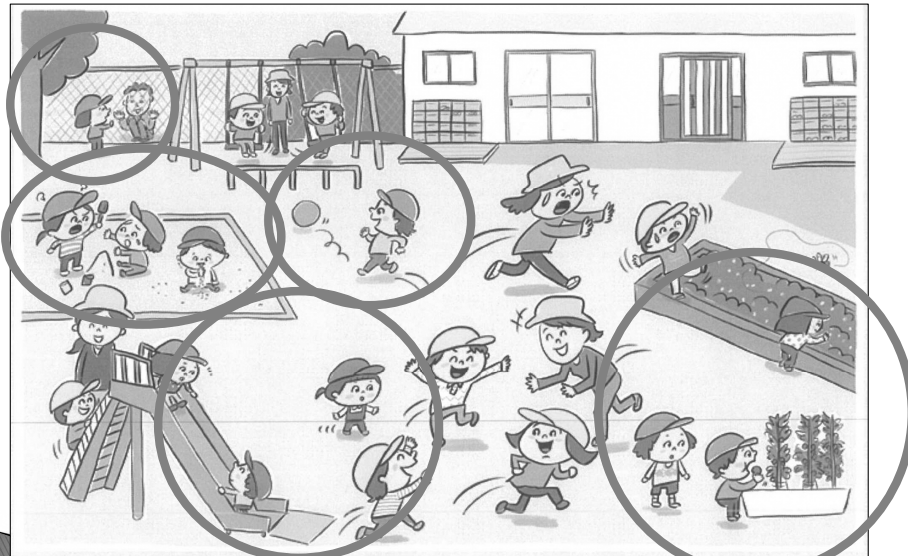


## 教育・保育施設等における園児の 見落とし事案の発生防止対策 ②



Copyright (C) 2025 保育安全のかたち 遠藤

## 見るだけでなく、見えてない空間を自覚



出所「0・1・2歳児を守る 実践 保健マニュアル」(著者・遠藤)

## 一般的なヒューマンエラーの種類

- ① 不注意・場面行動本能
  - ★ 周りが見えない
  - ★ 自分でも思わぬ行動をとる(うっかり)
- ② 故意・怠慢(手抜き)
  - ★ 慣れによって作業を省略する
  - ★ 違反行為
- ③ 誤認(思い込み)・集団欠陥
  - ★ 思い違いや無知(未経験)
- ④ 年齢や病気による心身の機能低下

## 通園バスの車内確認の問題点

- バス車内に子どもが居たことで、少しでも早く人数確認を、車内確認をしていれば結果が違った可能性が高い
- “乗せた子ども”を間違いなく降ろす行為に対する確認（車内確認は二重確認）
- “降りた子ども”の人数確認と考えると、降りる事自体に確証がないので、結果、抜け漏れリスクが生まれる

## 置き去りの人数点呼の問題点

- ★ 園庭から室内に戻る、公園から帰園する
- ★ 園庭や公園に居る、指示に従って行動することができた子どもの人数点呼を行なっている
- 園庭で遊んでいて問題がなかったこと、室内に戻るために子どもを呼び集める行為に対して、間違いなく目的が叶ったことへの確認
- 帰園しての点呼は、公園に居た子どもを漏らすことなく連れ帰ることに対しての最終確認

## 人数確認の盲点：事前行動の確認

人数確認＝その場に居る人数を確認する手段

- すでにその場に居ない事態は回避できない
- その場に居る・集まれていることが前提にある

例：園庭から室内に戻る → 室内で人数確認

- ① 園庭活動の終わりをつげる
- ② 間違いなく室内に戻れるように誘導する

以上が上手くいったことを改めて室内で確認する

## 「保育救命」保育者のための安心安全ガイド



Amazonなど好評販売中  
遠藤 登著  
株）メイトのひろばブックス  
（月刊ひろば別冊）  
色刷88ページ・両面カラー  
ポスターつき。

一般書店で予約  
ISBN 978-4-89622-412-2

予約問い合わせ  
株式会社メイト  
03-5974-1700  
書籍コード：61043